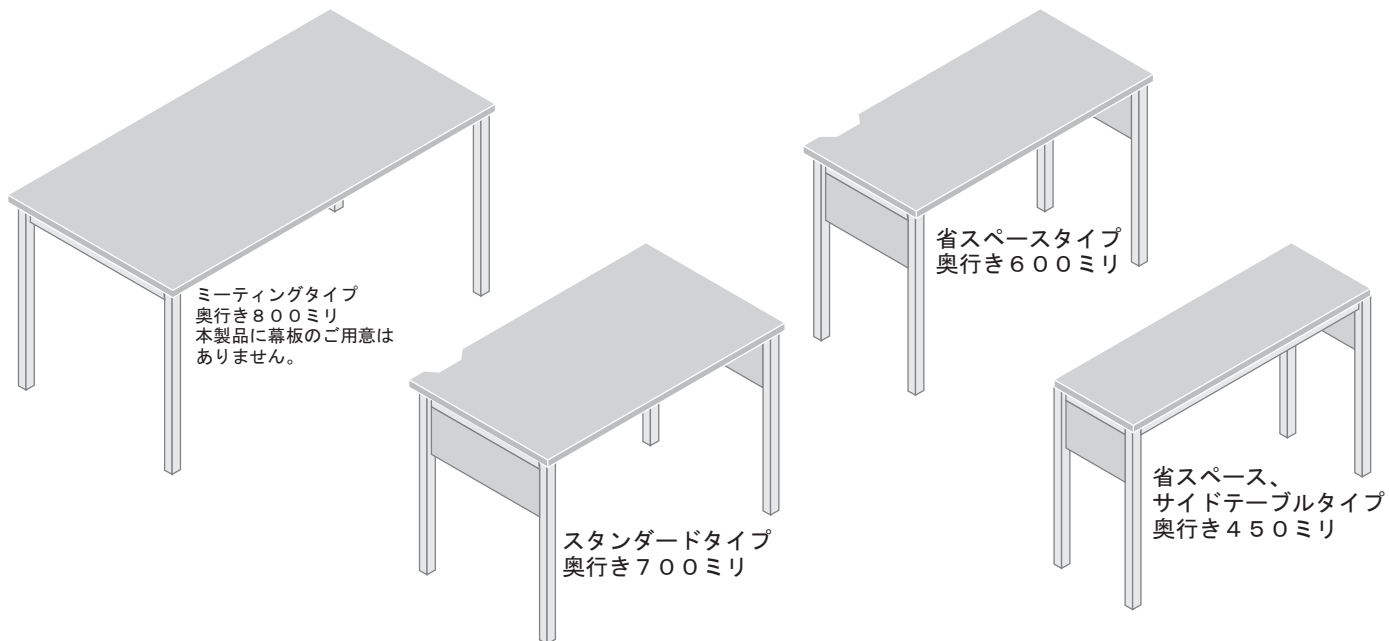


C2テーブル 幕板 取扱説明書

C2-147, 127, 107, 186, 146, 126, 106, 124, 104M
415-434/435/436/433/441/437/438/439/440

20080326

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
お読みになったあとは、大切に保管してください。



警告 ●積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
●廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。



注意 ●火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
●天板の外周に片寄って重いものをのせしないでください。倒れてケガをすることがあります。
●天板に60kg（等分布加重）以上のものをのせしないでください。天板が破損してケガをすることがあります。
●天板ののったり、腰掛けたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
●各部のネジ類がゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。破損や倒れてケガをすることがあります。
●異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。
●用途以外に使用しないでください。事故やケガをすることがあります。

■一般のご注意

- ・直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
- ・移動するときは2人以上で持ち上げて行ってください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。
- ・高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
- ・天板の上に水などをこぼしたら、直ちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれたりすることがあります。

品質表示

■外形寸法：(背側幕板部品サイズ)

品番	幅	奥行	高さ	単位
C2-147M	1326	18	200	(mm)
C2-127M	1126	18	200	(mm)
C2-107M	926	18	200	(mm)
C2-186M	1726	18	200	(mm)
C2-146M	1326	18	200	(mm)
C2-126M	1126	18	200	(mm)
C2-106M	926	18	200	(mm)
C2-124M	1126	18	200	(mm)
C2-104M	926	18	200	(mm)

■甲板の表面材：合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)

■脚部表面加工：アミノアルキド樹脂塗装

■取り扱い上の注意
：直射日光、または暖房器具などの熱を避けてください。

■表示者：プラス株式会社 ガラージ事業部
東京都千代田区三番町6番地14

MADE IN TAIWAN



お手入れ方法

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか、ぬらして固く絞った布などで拭いてください。
2. 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後ぬらして固く絞った布などで拭いて、洗剤を完全に取り除いてください。
※シンナー、アルコール類は使用しないでください。



お問い合わせ先 製品に関するご質問は、ご購入店・または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージお客様センター / Tel. 0120-331-753 (9:00~18:00 日曜祝日、年末年始を除く)

C2テーブル 幕板 組立説明書

C2-147, 127, 107, 186, 146, 126, 106, 124, 104M
415-434/435/436/433/441/437/438/439/440

20080326

組み立ての前に必ずお読みください。不適切な組み立ては事故につながる恐れがあります。
必ず2人以上で組み立ててください。
梱包を開封する際は、カッターなどで本体をキズつけないよう十分ご注意ください。



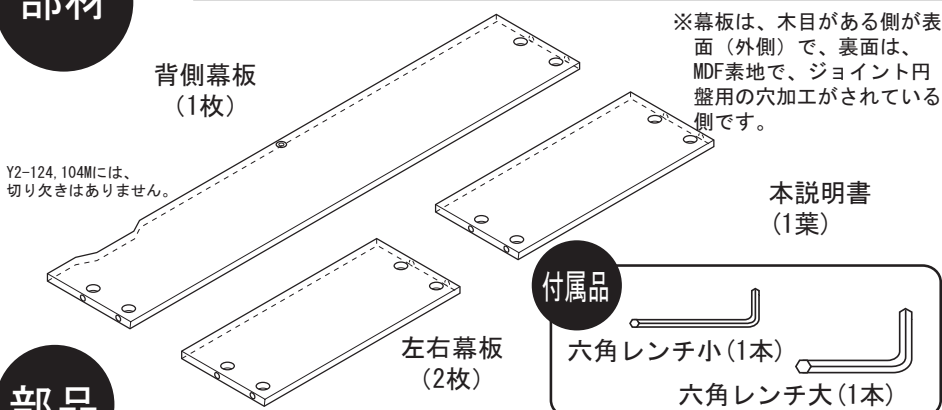
注意

- 工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組み立ての際は、お子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に組み立ててください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
- 組み立ての際、製品および床などをキズつけないようご注意ください。

最初に必要なパーツがそろっているか確認してください

部材

似ている部材・部品でも左右・上下で異なる場合がありますのでご注意ください。



工具 お客様にご用意頂くもの
特に必要ありません。
(付属工具にて組立ができます)
既に、組立済みのテーブルに
取り付ける場合は、
テーブルに付属の工具があれば、
ご用意ください。

その他 段ボール・毛布など
作業する場所に敷くもの
(部材や床のキズ防止のため)

部品

	C2-147M 415-434	C2-127M 415-435	C2-107M 415-436	C2-186M 415-433	C2-146M 415-441	C2-126M 415-437	C2-106M 415-438	C2-124M 415-439	C2-104M 415-440
ジョイント円盤	12	12	12	12	12	12	12	12	12
ジョイントピン	12	12	12	12	12	12	12	12	12
ジョイント円盤用キャップ	12	12	12	12	12	12	12	12	12
幕板取付用ネジ (M6×15)	3	3	3	3	3	3	3	3	3
幕板取付金具	1	1	1	1	1	1	1	1	1

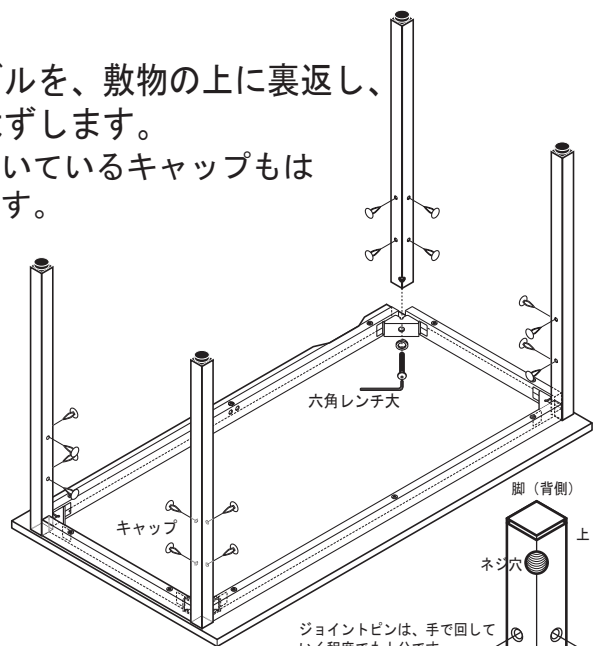
幕板付デスクの商品コード	C2-147HM 415-632	C2-127HM 415-633	C2-107HM 415-634	C2-186HM 415-639	C2-146HM 415-641	C2-126HM 415-635	C2-106HM 415-636	C2-124HM 415-637	C2-104HM 415-638
天板の商品コード	415-523	415-524	415-525	415-559	415-560	415-526	415-527	415-528	415-529
脚の商品コード	415-533	415-534	415-535	415-569	415-570	415-536	415-537	415-538	415-539
幕板の商品コード	415-434	415-435	415-436	415-433	415-441	415-437	415-438	415-439	415-440

既に組み上がったテーブルに、幕板を取り付ける場合。

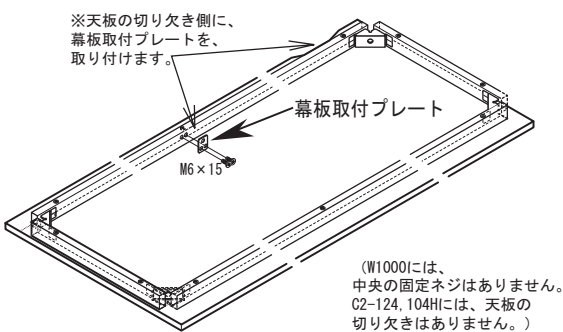


敷物を敷いてください。
六角レンチ大
六角レンチ小

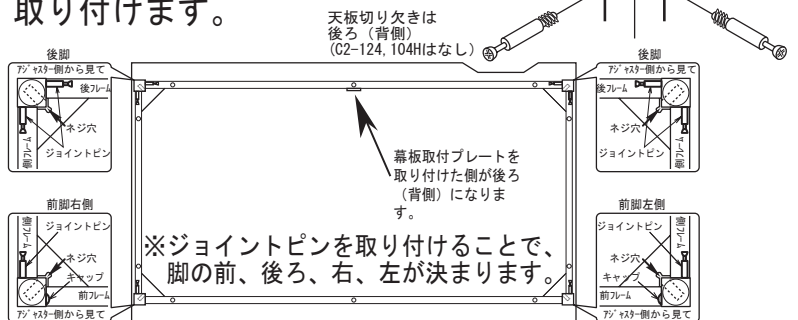
1 テーブルを、敷物の上に裏返し、脚をはずします。脚に付いているキャップもはずします。



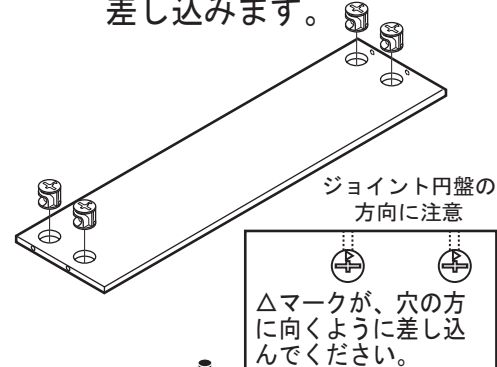
2 幕板取付プレートを、前後フレームに取り付けます。



3 脚にジョイントピンを取り付けます。

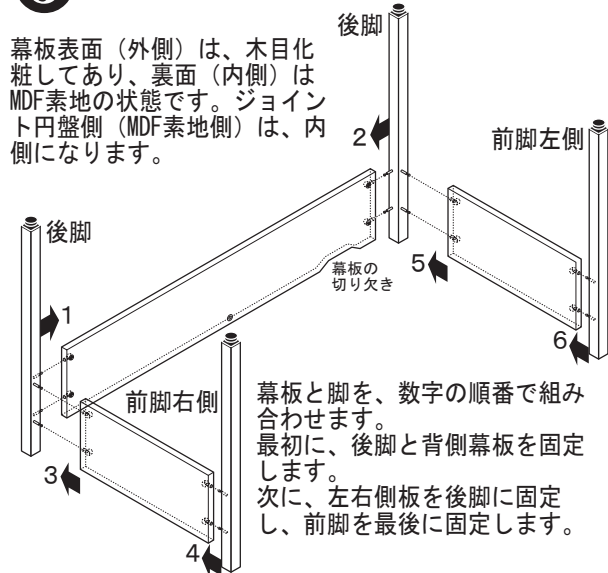


4 幕板にジョイント円盤を差し込みます。

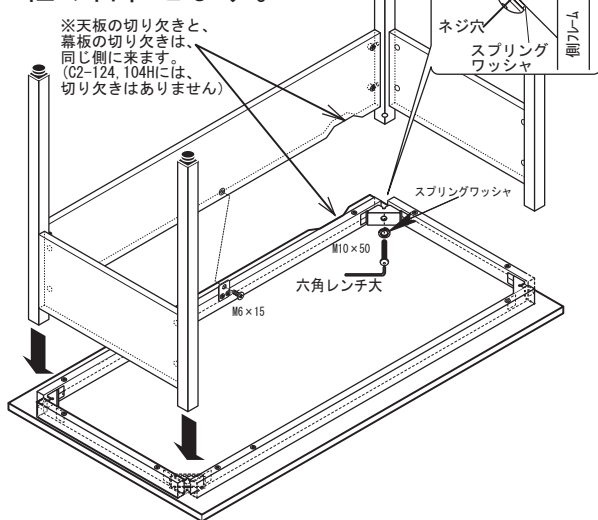


5 幕板と脚を組み合わせます。

幕板表面(外側)は、木目化粧しており、裏面(内側)はMDF素地の状態です。ジョイント円盤側(MDF素地側)は、内側になります。



6 天板と幕板、脚を組み合わせます。



7 設置場所に置き、アジャスターの調整をし、ガタツキがないか確認してから、使用してください。本製品は、アジャスターの調整が不十分な場合、ガタツキがでて、本来の特性を出せません。天板上方向から体重を掛け、左右前後に揺すったとき、脚がずれる場合は、その脚のアジャスター調整が必要です。

20100121

テーブルの組み立てと一緒に、幕板を取り付ける場合。



敷物を敷いてください。
六角レンチ大
六角レンチ小

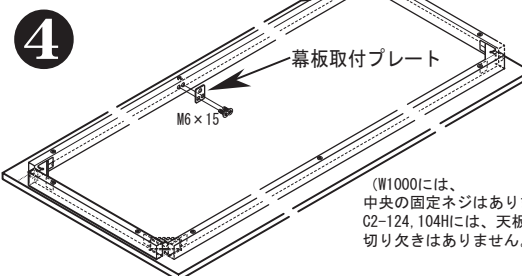
テーブルの組立説明書をご覧ください、**1****2**まで進みます。

1 天板を裏返し、前後フレーム、側フレームを取り付けます。

2 脚ジョイント金具を、フレーム内側の四角い穴に差し入れます。

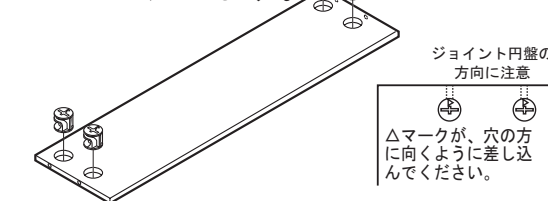
3 幕板を取り付ける前に、前後フレーム、側フレームを締め付けます。(本締め)

※各ネジは、脚、脚ジョイント金具の合わせを見ながら、各ネジを徐々に均等に締めてください。(1カ所を一度に締めず、全てのネジをまんべんなく、締めてください。)
※幕板を取り付けた後では、本ネジは締められなくなります。



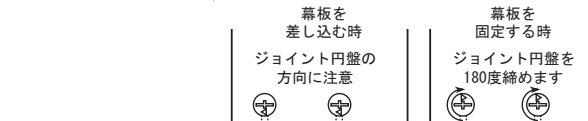
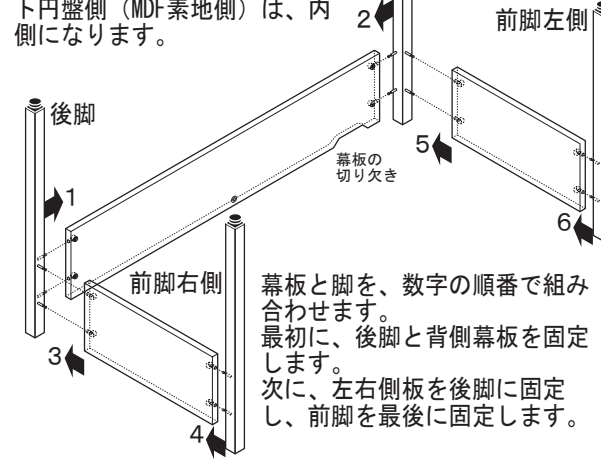
4 幕板取付プレートを、前後フレームに取り付けます。

6 幕板にジョイント円盤を差し込みます。

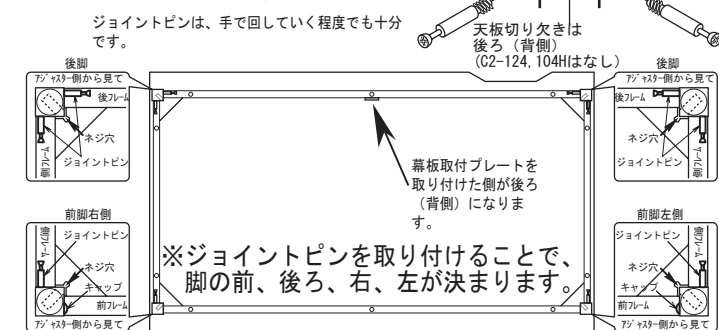


7 幕板と脚を組み合わせます。

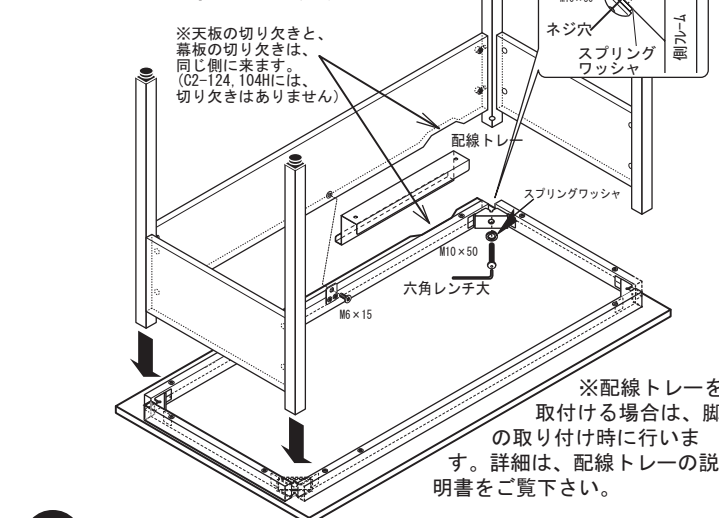
幕板表面(外側)は、木目化粧しており、裏面(内側)はMDF素地の状態です。ジョイント円盤側(MDF素地側)は、内側になります。



5 脚にジョイントピンを取り付けます。



8 天板と幕板、脚を組み合わせます。



9 設置場所に置き、アジャスターの調整をし、ガタツキがないか確認してから、使用してください。

本製品は、アジャスターの調整が不十分な場合、ガタツキがでて、本来の特性を出せません。天板上方向から体重を掛け、左右前後に揺すったとき、脚がずれる場合は、その脚のアジャスター調整が必要です。